

若者の自立支援ボランティア活動参加のスタディーツアー  
2007(夏)：スリランカ

企画：NPO 法人 タランガ・フレンドシップ・グループ (TFG)

## スケジュール・スタディーツアー内容 (予定を含む)

日目	内容	滞在・備考
8月23日 木	1. 日本・各地からスリランカへ。中部国際、関西、成田各空港から。(乗り換えがありうる)	夜コロombo空港に到着後、ネゴンボ海岸ホテルへ
2日目 8月24日 金	1. 朝食後、ワヤンバ職業訓練校へ。研修コース終了式に参加。 2. 研修生 OB/OG の発表会を見学。研修生との文化交流会。夜遅くまで。 3. 研修生により、オーダーメイドの服の注文 (女性：サーリー・サーリーの下に着るブラウス、ワンピースなど。男子：スリランカ民族洋服のナショナル、サロン (上下)。費用は、男性 2000～4000 ルピー 程度。女性：2000～5000 ルピー程度 (同上・生地代、作業代。生地の値段は種類によって異なる。)。色や生地の種類、デザイン：白、他の浅い色 (葉色など好みによって選ぶことは可能)。	1. クルネーガラ市内・ビジネスホテル泊。 2. 希望により職業訓練校で滞在可能。水シャワー、蚊帳を利用、エアコンなし。日本では経験できないこと。事前に申し込みが必要。
3日目 8月25日 土	1. 研修生の農場、出身村 (低開発村) を訪問 2. 村人などとの交流 3. 植林事業への参加 4. 研修生の家庭訪問 (研修生用に 500～1000 円程度の記念品、一人 1 個程度を準備してください。お菓子などより、いつでも「日本」(及びそれを贈呈した)「日本人」を思い出してもらう種類のほうが望ましい。自分で決められない場合、TFG 事務局へご連絡ください。 5. 大勢の村人を対象とした「日本・スリランカ文化交流会」の開催。参加者に積極的に参加してもらいたい。具体的な活動についてツアー説明会にて相談。 6. バナナの葉や蓮の葉に乗せた昼食。食事は研修生らが準備した天然のもの。無農薬野菜などが豊富な数種類のカレーを中心とした自然の食事 (観光ホテルでは食べられないものもある)、自然の果物食べ放題 (この時期に採れるものに限る) 7. 研修生や村人を対象とした調査活動に協力していただく (一部の方に限ることもありうる)。アンケートなどに記入し、スタディーツアーでの学習、分析に利用してもらいたい。 8. オーダーメイドの服を受け取る時に、TFG 研修生に対する動機付けのために彼らへのお礼も忘れずに。「すごいね、！！もっと頑張るよにと」、一言をお願いします！受け取る日を現地ですら知らせる)	1. クルネーガラ市内・ビジネスホテル泊。 2. 夜：北西州の政治家、職業訓練校の指導者などとの交流会。 3. スリランカ側の担当者によるスピーチなど。 4. TFG による講演。 5. 日本の文化紹介、簡単な遊び (マジックでも良!) などをお考え下さい。積極的に参加を望む。
4日目 8月26日	1. 研修生の農場、出身村 (低開発村) を訪問 2. 村人などとの交流 3. 植林事業への参加 4. 村人を対象とした「日本・スリランカ文化交流会」の開催。参加者に積極的に参加してもらいたい。具体的な活動についてツアー説明会にて相談。	低開発村での植林、交流の後、世界遺産地域へ移動。  滞在：文化三角地帯・世界遺産の都市

日	<p>5. 研修生や村人を対象とした調査活動に協力していただく（一部の方に限ることもありうる）。アンケートなどに記入し、スタディーツアーでの学習、分析に利用してもらいたい。</p> <p>6. 夕方、紅茶工場を訪問。美味しい高級紅茶を格安で購入可能。日本では手に入らない種類が豊富。スリランカからの高価な安いお土産！！注目！</p> <p>7. スリランカの最後の都、世界遺産の町キャンディーへ移動。仏歯寺院を見学・お参り。</p> <p>8. バイキング方式の夕食（スリランカの3食の中で最も重要な食事。種類も豊富。一部西洋の食事もある。が、スリランカ独自の食事類も）。広いリゾートホテル滞在を楽しんでください。</p>	「キャンディー」市内・山上のリゾートホテル泊。夜のキャンディー町のライトアップもきれい！
5 日目 8 月 27 日 月	<p>1. 朝食（スリランカの現地の朝食を含む数種類のカレー、多数の果物類などのバイキング）後、ペーラーデニヤ植物園を見学（この木なんの木・気になる木・・・日立コマースシャルでの木と似ている木・・・などを見学）</p> <p>2. 昼食後、日本の企業や外国の企業が進出している工業団地を訪問（相手側の都合によるキャンセルになる可能性もある。改めてご了承ください）</p> <p>3. 夕方、世界遺産ダンブッラ寺院を見学（石窟寺院）。1500年以上のカラーフルな色の仏像などを楽しんでください。途中で、果物の王様のドリアン君と出会うかもしれない！！臭いといわれて嫌がる人もいるけれど、挑戦する？？きっと好きになるよ！</p> <p>4. リゾートホテルでアーユルヴェーダマッサージを楽しんでください。女性だけでなく、男性にも大人気です。顔、頭美容マッサージから全身マッサージまで、メニューが豊富。予約制となるので、早めに予約をお勧めします。料金は日本と比べ、とても安いですよ！！（オプション、実費負担）。</p>	世界遺産の町ダンブッラのリゾートホテル。ホテル周辺では、数種類の鳥や動物などが自然と生活している。「マイナスイオン」はたっぷり・・・ありますよ！スタディーツアーでの学習・分析発表（移動中）
6 日目 8 月 28 日 火	<p>1. 朝食後、世界遺産シーギリヤ地域へ移動。世界遺産シーギリヤロックを訪問。ライオンの岩を登る。1500年前の壁画や、お城の遺跡などを見学。人によっては、「冒険の旅」??になるかも。楽しみに！！岩登りに自信のない方は、現地の手伝い人をお願いすれば・・・すんなりと岩の天辺へ！！</p> <p>2. 後、市内観光後、ホテルへ。リゾートホテルでアーユルヴェーダマッサージを楽しんでください。</p>	世界遺産の町ダンブッラのリゾートホテル泊。スタディーツアーでの学習発表（移動中など）
8 月 29 日 水	<p>1. 朝食後、象の孤児院へ移動。小象にミルクを飲ませる姿や、60～70頭の象の群れを身近で観察してください。</p> <p>2. 昼食後、市内観光、買い物など。→コロンボ空港近くの海岸のホテルへ移動。休憩。</p> <p>3. 夕食後、日本への出発</p>	機内泊
8 月 30 日 木	<p>1. 日本へ到着・解散</p>	

TFG 本部：〒510-0263 鈴鹿市郡山町 663-222 鈴鹿国際大学内クマール研究室宛  
連絡先：465-0072 名古屋市名東区牧の原 1 丁目 503 ユニブル西山 302 （ツアー担当：田中 實）  
電話：052-701-0918 メール：ju-ki@sweet.ocn.ne.jp 電話：090-3956-0737（携帯）（田中）  
taranga@e-net.or.jp（TFG 事務局）

備考：

1. 利用する飛行機会社：スリランカ航空
2. 参加費：中部国際・成田・大阪空港（発着）¥180,000— 福岡空港港（発着）¥200,000。  
2人1部屋ベース。  
シングル部屋希望の場合2万円増。
3. 説明会への参加：愛知、三重、東京での説明会を開催予定。参加人数によっては、電話による説明に変更する場合もある。
4. 申込締切日：7月15日（飛行機の席は確保可能）。この後でも申し込みは受け付けますが、飛行機の席の確保は確定できない場合もある。必ず参加したいとお考えの方は、なるべく早くお申し込み下さい。

## 「TFG スタディーツアー2007 夏」への参加に関する注意ごとなど 資料③

1. 宿泊：2人1部屋ベース。シングル部屋希望の場合2万円増。一日3食の標準食事、グループ行動でのチップ代、スリランカ国内移動宿泊費、植林活動費、ボランティア活動費、交流費が含まれています。申し込み期限は7月15日です。なるべく早く申し込みをしてください。
2. ツアー申し込みの場合、一般参加者はTFG会員になるための申し込みも同時可能です。個人年会費は3000円。会員申込書はホームページにてダウンロードできます。TFGのホームページアドレスは、<http://www.e-net.or.jp/user/taranga/> です。メール：taranga@e-net.or.jp)。
3. 今回、スリランカの人々との交流の場合は、日本から訪問者がどのようなことをスリランカの人々に伝えるのかを考えてください。日本の伝統・現代文化、食文化、その他考え方、日本の風景（写真などを使いながらの紹介）、歌、踊りなど・・・いろいろと考えられますが、皆様からのご意見をお待ちしております。自分の特技などの披露にも是非この機会をお使いください。詳細についてはTFGのツアー担当者へご相談下さい。（この分は、以前のツアーの場合は参加者の評判がとて高かった部分のひとつです）
4. 現地の旅行手配者：JETWING TRAVELS, COLOMBO です。スリランカの大手旅行会社です。
5. 現地のその他の手配、通訳は岐阜大学大学院修了生のマーネルさん（女性。TFG Sri Lanka 現地事務所担当）。日本語はぺらぺらですよ！
6. TFGの活動の現地窓口は Wayamba Training Institute (WTI)であり、州政府下の職業訓練担当の組織です。その上部組織は Wayamba Provincial Council (WPC)と言い、北西州州政府である。TFGの活動への協力者である。
7. 貸し切りバスの中で楽しいゲーム、クイズや遊びなどをしながらの現地での移動となるため、スリランカ理解を深めると同時に有意義な時間を過ごすことになると期待しています。
8. 食事は原則としてスリランカ料理です。一日3食（朝、昼、晩）天然スパイス入りカレー料理です。朝はパン、バターなどもあります。日本のカレーとは全く違います。種類によっては日本の20倍程度の辛さもあります。一回当たり10種類以上のカレーが並ぶのは珍しくない。また、食後の熱帯国での甘い果物も味わってください。日本での味とどれほど違うのかを自らで確認してください。
9. ホテルなどでは観光客用に準備した食事もあります。香辛料の多い料理であっても、年齢と関係なく、美味しく召し上がっていただけるのかと、自信を持ってお勧めします。過去のツアー風景もTFGホームページで確認してください。
10. 8月はまだ暑い時が多いですが、植林には間に合います。研修生の出身村である、開発がとて遅れている「低開発村」を訪問し、これらの事業を行います。村人と交流をしながらのボランティア活動で、日本ではまったく経験できないものが多いと思われます。また、これらの活動場所は開発がとて遅れているところですが、それらの若者や人々の生きるための努力とその姿勢が大いに参考となると思われます。村へアクセスするのも大変作業となります。バスから耕運機などに乗り換え、村へ入るときもあります。貴重な体験になることでしょう。ぜひご期待ください。
11. スリランカ旅行期間中、スタディーツアーへの参加者の身の安全を最大限に重要視し、治安の問題にも注意をしながらツアーを実施します。
12. 各個人は自分の意思によりスタディーツアーへ参加していただきたい。また、ツアーへの参加者は、日本を出発し日本へ戻るまでの通期間では自ら十二分に責任を持って、行動をしていただきたい。個人の行動は原因となり、行程内で起こる事故、事件、トラブルなどにはツアー企画者は一切責任を取らない。
13. ツアーへの参加のため外国へ旅行することになるため、スタディーツアー参加者は、必ず海外旅行保険に加入しなければならない。加入費は自己負担。詳細については説明会などでご確認ください。
14. 相手の都合により、上記の日程、予定、宿泊先を変更する場合はあります。改めてご了承ください。
15. 訪問先地域に関する詳細な情報は「外務省海外安全ホームページ」にて事前にご確認ください。アドレスは、<http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>